

## オバマ米国新大統領就任への会頭コメント

オバマ新大統領の就任を心よりお祝い申し上げます。

世界同時不況のなか、米国の金融・経済の立て直しは急務である。米国民の圧倒的な支持と世界中からの大きな期待を背景として、スピード感を持って大胆に政策に取り組みられることを期待したい。大型景気対策に向けた財政出動アナウンスだけでも、落ち込んでいる心理は変わる。心理が変われば株価や為替などの市況も変わると期待している。

特に、新大統領が打ち出された「グリーン・ニューディール政策」は、大量生産・大量消費の「量的対応経済」から、持続可能社会を支える「環境対応経済」への社会や経済の変化を見据えた中長期の政策として評価している。京都議定書の批准も早期に決断して、地球温暖化対策への貢献を願っている。

また、先の大統領選挙において、オバマ新大統領は、暴力的な市場原理の経済から思いやりのある市場原理の経済へとつくり直すことが問われていると主張してきた。

そのためには様々な地域や民族の多様性を尊重して、連携と協力を構築することが重要であり、その意味においても、就任演説の第一声に、イラク戦争や金融危機によって世界に大きな混乱を来した反省の趣旨の発言や世界が米国に向ける協力度を変えるようなメッセージを発信してもらいたかった。

平成21年1月21日  
京都商工会議所  
会頭 立石 義雄